

森野 禎浩先生に実際の症例を元に IVUS のレクチャーをしていただきました。

Case1 動脈硬化病変

Case2 Af。血栓閉塞時病変

Case3 大動脈解離

Reverberation...石灰化による多重エコー、等間隔で描出される

Air bubble artifact...一度抜くべき

Case4 石灰化病変。プラーク像

Case5 DCA 後にプラーク

Case6 RCA の AMI。血栓が大量で吸引してもわいてくる。

Case7 LAD の AMI。PCI 後に flap。Wire 抜いたら閉塞。

Case8 LAD へ PCI。POBA 後心外膜へ染み出し。

Case9 LAD の AMI。入口部分からず IVUS。

Case10 PCI 時にプラーク。

Follow カテの際、新生内膜が出来た後にプラークが解けて抜けた像が見えた。

当院では一部の分岐部病変や石灰化病変など IVUS の使用頻度が少なく勉強になりました。